

放課後等デイサービス

支援プログラム



基本情報

事業所名	ピノ
作成年月日	2025年3月1日
事業所理念	発達支援が必要な子供たちが安心して成長できる「第3の居場所」として、家庭や学校と連携しながら個々のニーズに応じた支援を提供します。
支援方針	個別最適化された支援
	主体的な活動促進
	家庭・学校・地域との連携
	専門的支援の提供
営業時間	10：00～18：00
送迎実施	有り

ピン 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

ピン 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

支援の理念

ピノは、発達支援が必要な子どもたちが
安心して成長できる『第3の居場所』として、

家庭や学校と連携しながら
個々のニーズに応じた支援を提供します

一人ひとりの特性に寄り添い、
『楽しい!』という感情を大切にしながら、
自立・社会参加スキルを育みます



ピノ 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

以下の支援方針を大切にし、子どもたちの発達をサポートします

個別最適化された支援



各児童の
特性や成長段階に応じた
個別支援計画を作成し
適切なプログラムを提供します

主体的な活動の促進



子ども自身が興味を持ち、
意欲的に取り組める環境を整え
自己決定を尊重します

家庭・学校・地域との連携



家庭・学校・地域社会と
密に連携
支援の継続性を確保します

専門的支援の提供



言語聴覚士・作業療法士・理学療
法士などの専門職が関与
発達段階に応じた
適切な療育を実施します

ピノ 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

支援プロセス

以下のプロセスを踏みながら継続的にアプローチします

① アセスメント

生活情報を
収集

領域ごとの
課題分析

特性評価

支援の第一歩として、
保護者からのヒアリングや観察を通じて、
子どもの発達状況や課題を詳細に把握

また、各領域

健康・生活

運動・感覚

言語・
コミュニケーション

認知行動

人間関係・
社会性

ごとに

課題を分析し、個々の特性を明確化

② 個別支援計画の策定

目標設定

プログラム
作成



アセスメントの結果をもとに、
子どもが『がんばればできそう!』と感じられる
適切な目標を設定

また、各領域

健康・生活

運動・感覚

言語・
コミュニケーション

認知行動

人間関係・
社会性

ごとに

具体的な計画を立て、無理なく成長できるようサポート

支援プロセス

以下のプロセスを踏みながら継続的にアプローチします

③ 療育の実施



個別療育



集団療育

個別支援計画に基づき、
子どもたちが**楽しみながら成長できる環境**を提供

個別療育(1対1の支援)と**集団療育**(グループ活動)を
適切に組み合わせながら、**発達を促進**



④ モニタリング・見直し



進捗確認



定期評価

支援を行う中で、
子どもの**発達状況を定期的に評価**
必要に応じて**個別支援計画を見直し**

スタッフ間で情報を共有
継続的に質の高い支援を提供



ピノ 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

3つの支援

ピノでは、以下の3つの支援を行います

①

本人支援



②

家族支援



③

移行支援



① 本人支援



A 健康・生活

食事・整容・排泄・着替え・準備・片付け等
日常生活に必要なスキルを身につける支援

自立に向けた基本的な生活習慣を、
実際の生活場面の中で
習得できるよう促す



B 運動・感覚

粗大運動・微細運動を通じて、
基礎的な運動機能を向上させ、
身体の使い方を学ぶ

粗大運動 姿勢保持・移動・体づくり・ジャンプ・ボール遊び等

微細運動 つかむ・ひねる・はめる・描く・切る等

C 言語・コミュニケーション

就学前の子ども

ジェスチャーや指さしなどの非言語コミュニケーション・
語彙の習得・指示の理解のサポート

就学後の子ども

文章の読解・表現力の向上・行動のコントロールなどを
指導

D 認知・行動

色や形の認識・数の理解・感情表現・
時間の概念などを学び、

適切な行動ができるように支援



E 人間関係・社会性

集団行動スキル・園や学校生活への適応
支援・地域生活での社会適応をサポート

子どもたちが社会に出ても困らないよう、
「実践的な社会スキル」を
育む支援



① 本人支援

領域		支援内容
 A 健康・生活		食事・整容・排泄・着替え・片付け
 B 運動・感覚	粗大運動	姿勢・移動・体づくり・ジャンプ・ボール遊び
	微細運動	つかむ・ひっぱる・つまむ・描く・切る
	体育	跳び箱・鉄棒・走る運動
 C 言語・コミュニケーション	就学前	非言語(ジェスチャー・指さし)・語彙習得
	就学後	文章の読解・表現・行動コントロール
 D 認知・行動		色・形・数・感情理解
 E 人間関係・社会性		集団活動・社会的スキル

② 家族支援

発達状況の見立て

計画の策定

実行のサポート

相談・助言

家庭での支援の継続をサポートするため、
保護者との情報共有やアドバイスを行う

発達状況の見立て・**支援計画の策定**・
実行のサポートを行いながら、

保護者が適切な
関わりができるよう支援



③ 移行支援

獲得
スキルの
定着

公共機関
利用練習

学校との
連携

支援の中で獲得したスキルを、
家庭・学校などの環境でも活用できるように支援

公共交通機関の利用練習・買い物体験・
社会適応訓練などの活動を通じて、
実生活での応用力を高める



ピノ 支援プログラム

1 支援の理念

2 支援方針

3 支援プロセス

4 支援内容

5 職員の質の向上

6 主な行事・イベント

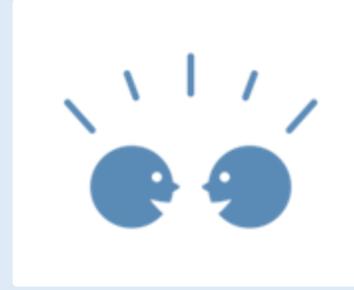
職員のスキルアップを目的として、以下の研修を実施します

管理者 研修



管理者向け
リーダーシップ研修

育成担当者 研修



育成担当者の
コミュニケーションスキル
向上研修

新卒・中途職員 研修



新卒・中途職員向け
療育研修

全職員向け 研修



全職員対象の
事故防止・
虐待防止研修

職員一人ひとりが高い専門性を持ち、質の高い支援を提供

ピノ 支援プログラム

① 支援の理念

② 支援方針

③ 支援プロセス

④ 支援内容

⑤ 職員の質の向上

⑥ 主な行事・イベント

年間を通じ、イベントを実施し、楽しみながら学べる機会を提供



SSTイベント

- ✓ 職業体験
- ✓ 街探検



季節イベント

- ✓ 初詣
- ✓ ハロウィン
- ✓ クリスマス会
- ✓ 進級式



学習イベント

- ✓ 科学体験



工作イベント

- ✓ スライム作り



運動イベント

- ✓ 運動会
- ✓ マラソン



音楽イベント

- ✓ リトミック



社会科イベント

- ✓ 社会見学
- ✓ 遠足



社会性や協調性を養いながら、成長をサポート